

月周回有人拠点(Gateway)を含む月探査へ参画する場合の考え得る協力取組(イメージ)

我が国の強みを活かして、重要な役割を担うなど、戦略的に参画

【米国の計画】

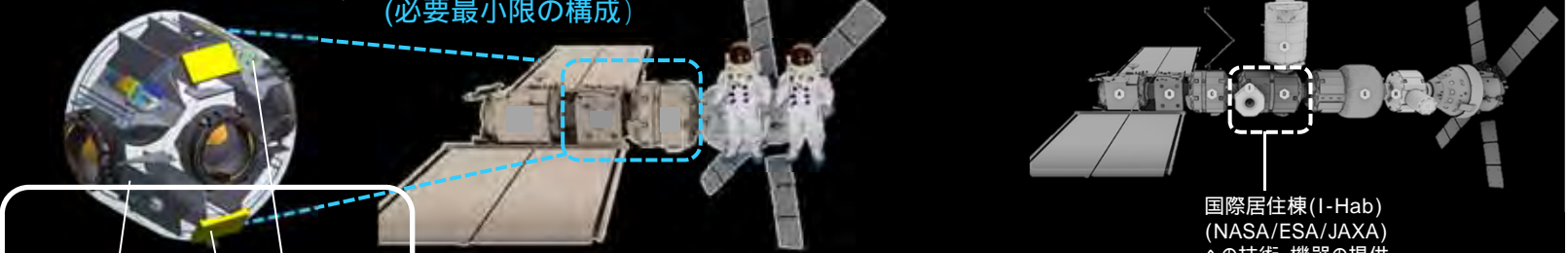
【具体的な日米協力】

電気推進
エレメント

ミニ居住棟

初期型Gateway
(必要最小限の構成)

Gateway(完成形)



国際居住棟(I-Hab)
(NASA/ESA/JAXA)
への技術・機器の提供
についても今後調整

(例) バッテリー
熱制御系ポンプ 窒素・酸素分圧用タンク
我が国が強みを有する
技術・機器の提供

地球高軌道でのドッキング → HTV-X3号機
②HTV-X/H3ロケットによるGatewayへの物資・燃料補給(2025年以降)

HTV-X1号機

HTV-X2号機

1,2号機によるISS補給後
を活用した技術実証

着陸地点の選定等に資する
月面の各種データや技術の共有

ピンポイント着陸



月極域
移動探査

月の南極域
に着陸
(2024年以降毎年)



月面探査を支える移動手段
(月面非与圧ローバー)の開発

(イメージ図)



月面与圧ローバーの開発

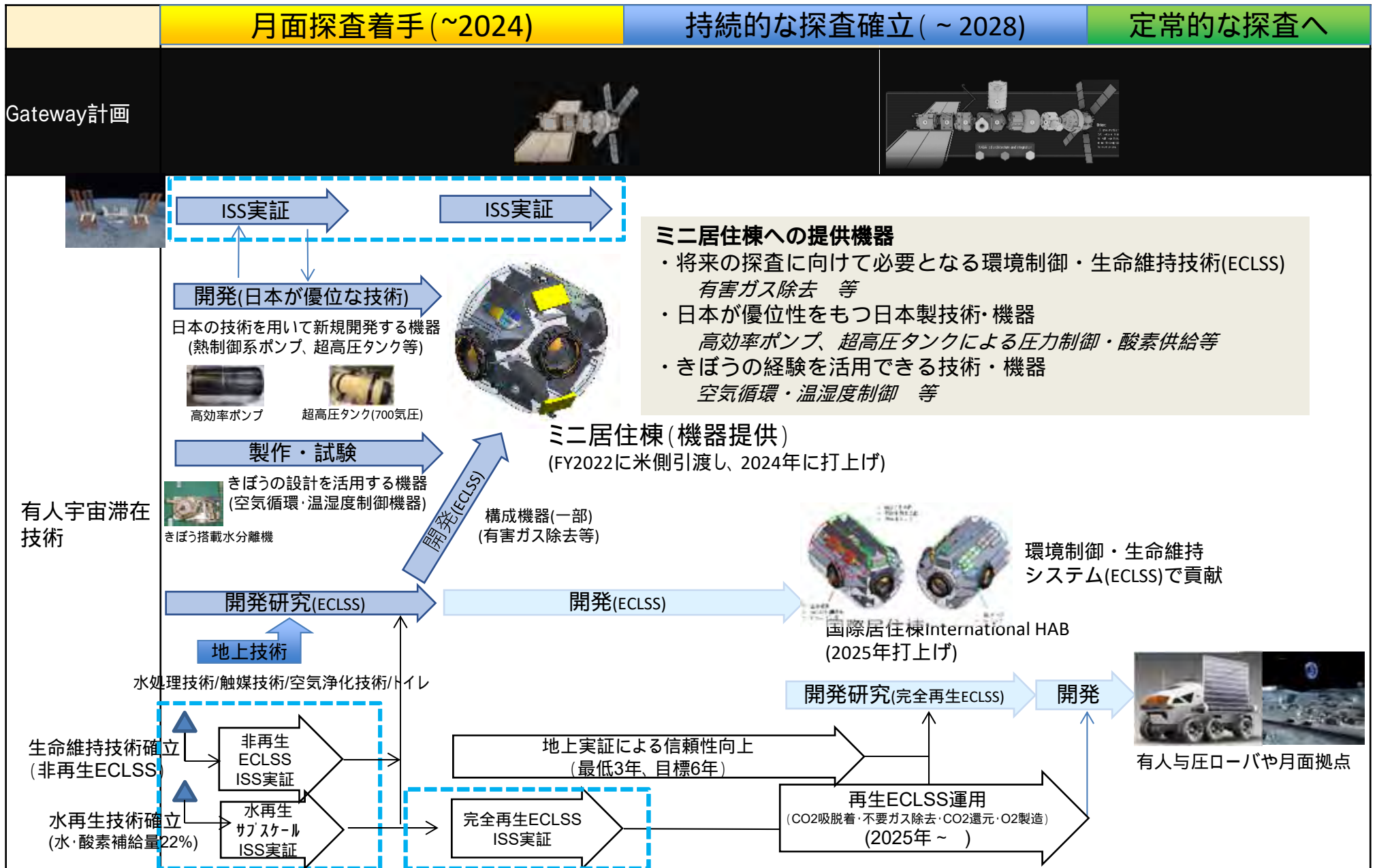
(イメージ図)



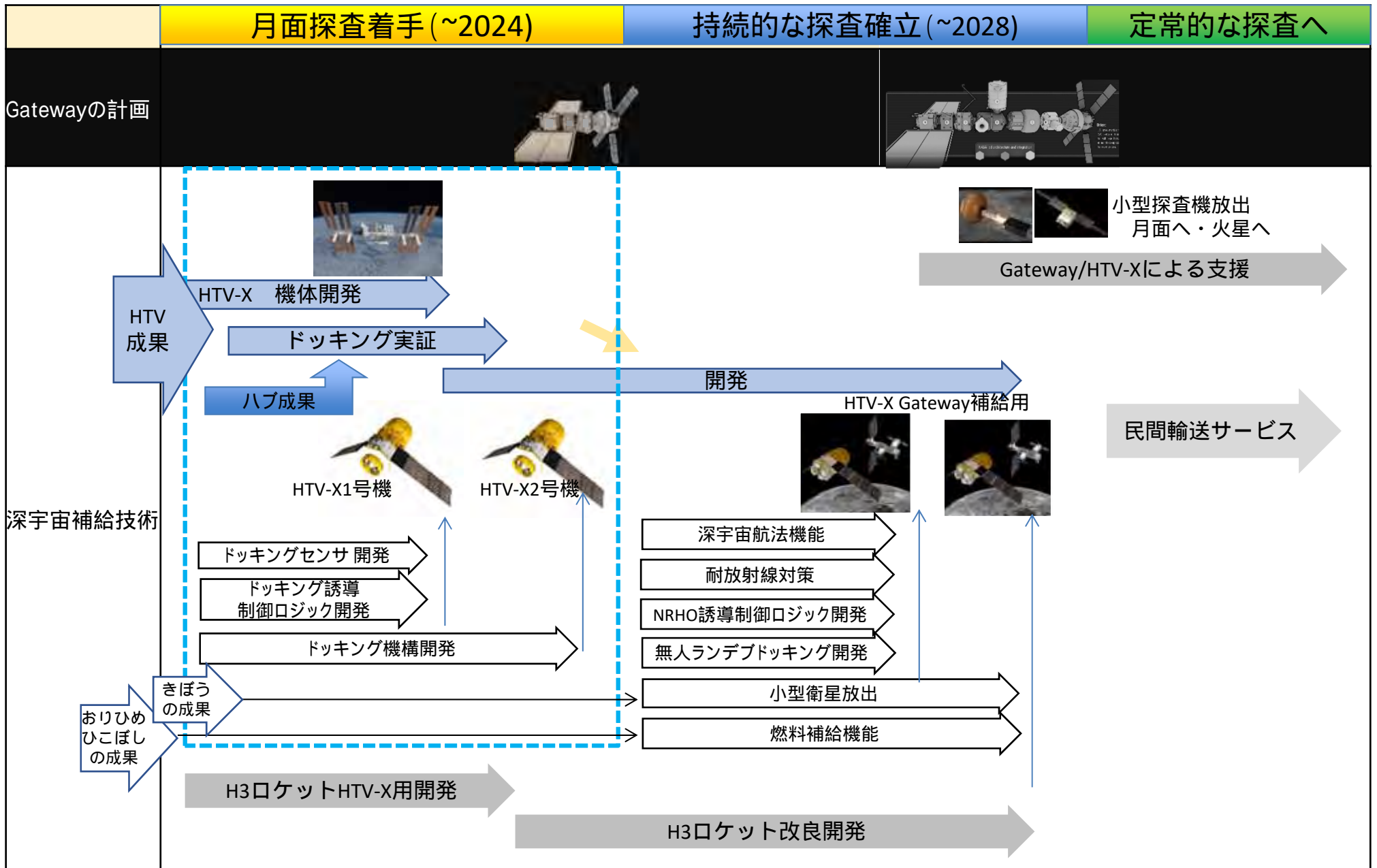
2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028

(注:本イメージ図はNASAやJAXAの資料を基に文科省で作成) 12

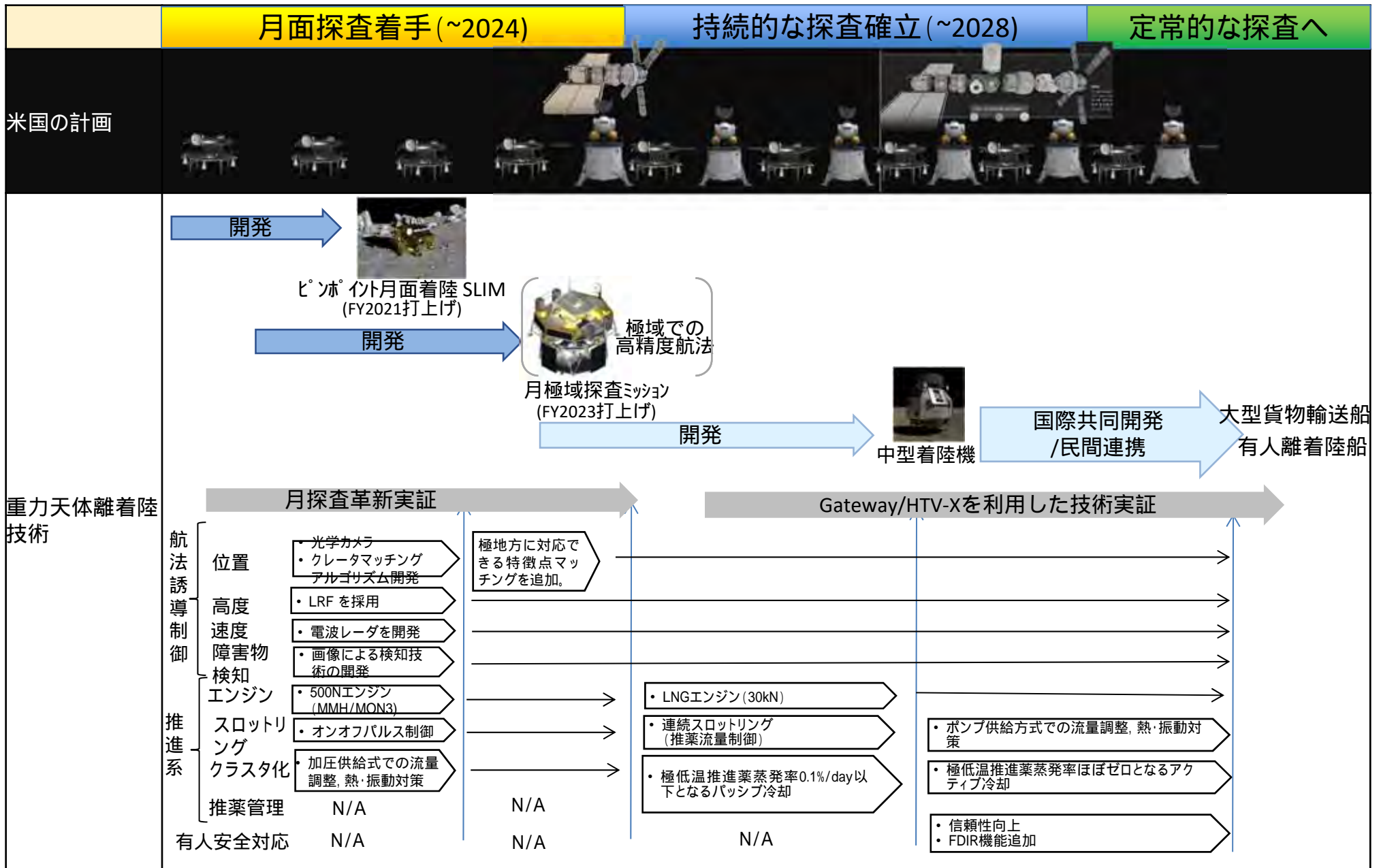
技術ロードマップ: 有人宇宙滞在技術(P12の、のキー技術)



技術ロードマップ: 深宇宙補給技術 (P12の のキー技術)



技術ロードマップ:重力天体離着陸技術(P12の のキー技術)



技術ロードマップ: 重力天体表面探査技術 (P12の、のキー技術)

